

山口県佐波郡徳地町方言のアスペクト

添田 建治郎、小島 潤一郎

I. はじめに

- (1) 調査対象地：佐波郡徳地町は山口県防府市の北東、佐波川を遡ってその兩岸と奥地に広がる農、山村である。人口は約1万。山口県内のちょうど中央部に位置する。
- (2) 調査年月日時：1994年1月14日午後 1時30分～3時30分（竹屋重乃）
1994年2月15日午後 1時15分～4時（宇佐美正昭）
1994年2月19日午前10時05分～11時55分（松本和也）
- (3) 話者：竹屋重乃 1920（大正9）年8月12日生（73歳）無職
宇佐美正昭 1924（大正13）年3月2日生（69歳）農業
松本和也 1973（昭和48）年9月12日生（20歳）学生
- (4) 調査者・調査場所：添田建治郎、小島潤一郎の両名が担当。調査は、竹屋、宇佐美の両氏についてはそれぞれの話者宅で、松本氏の場合は山口大学人文学部の国語国文学研究室にお出でいただいていた。
- (5) 調査方法・調査時の状況：調査票の調査項目に従って質問文を読み上げ、それに対して順次話者に内省を求める方式。調査票は、当日話者にお手渡ししそれをご覧いただきながら、調査を進めた。竹屋氏は終始明解に応答、宇佐美氏と松本氏はじっくり考えながら慎重に対応して下さった。
- (6) 表記方法：竹屋氏は徳地町柚木（旧柚野村）に生まれ育ち、30歳のときに結婚してその時以来防府市西浦に居住。宇佐美氏は徳地町柚木の生え抜きである。本稿の記述は老年層話者お二人の内省を中心に行うが、若年層のアスペクト表現についてどのような変容が見られるかにも注目して、若年層話者松本氏のそれとの比較を試みた。当該表現形を若年層話者のみが内省した場合は（若年層）、老年、若年両層話者に共通して内省された場合は（若年層も）と記し、特に断らない場合はそれが老年層話者のみの内省だったことを示す。三人の話者を個別に調査したため、本稿では、①②…などの記号は話者の発音順を意味していない。調査に際して、調査票をお手渡ししたので、基本的に予想語形はご覧になりながら質問に答えられていたはずである。従って、本稿の△印は、調査者が特に読み上げて注意を喚起した場合について付してある。

アクセントはその高音部に傍線を施す方式による。但し、*項の留意点の記述部分では省略した。話者から、「文末詞を省くのは不自然で難しい」などの申し出があったような場合は、文末詞をつけた形で観察し、その内省を記述する。

2、6、10、14、37、38、39、40、46、56、78、79、92の [æ:] は [æe] との間の聞こえの差が微妙だった。該当例は「カエー」「タエー」「ダエー」「ナエー」

のごとくカタカナ表記した。

II. 調査結果

1. (昔は) よく行ったものだね ①イキヨッタガノ／②イキヨッタ／△③イキヨッタ
(若年層)／④イッチヨッタ(若年層)
*若年層話者の内省では「③『イキヨッタ』の方が④『イッチヨッタ』より自然」。
2. (あのころは) おもしろかったなあ ①オモシロカッタガノ／②オモシロカッター
アー／△③オモシロカリヨッタアー／④オモシロカッター(若年層)
3. (もうちょっとで) 落ちるところだった ①オチルトコジャッタガ／△②オチルト
コジャッタデヨ／△③オチルトコジャッタ(若年層)／④オチヨッタ(若年層)／⑤ホ
ロケルトコロジャッタデヨ
4. (今にも) 落ちそうだよ △①オチカカッチョルデヨ／②オチカカッチョルデ(若
年層)／③オチヨル(若年層)／④オチルヨ(若年層)／⑤ホロケルデノ
5. (財布を) 落として ①オトシテカラ／②オトシテ／③オトシテシモーテ(若年層)
*①は困っている事情を提示することで不如意な気持ちが表現されている。若年層話者
からは「『～チャッテ』は言わない」との内省を得た。②は「オトシテ ヨワッチョル」
との表現の中で用いられた。
6. 困っている ①コマッタエーノ／②コマッチョル(若年層も)／③ヨワッチョル
*③「ヨワッチョル」が最も自然な物言い。若年層話者の内省に「『コマリヨル』とは
言わない」とあった。
7. (一本の蠟燭が今にも) 消えそうだよ ①キエカカッチョルデノ／②キエカカッチ
ョル(若年層)／③キエソーニナッチョルデヨ／④キエソーナヨ(若年層)／⑤キエソ
ーナ(若年層)
*若年層としては、上記の②④⑤例のほか「キエソージャ」も言いそう。
8. (今) 消えようとする(瞬間) ①ハヨ セニャ キエル／②キエヨーデ／③キエ
ヨル(若年層)
9. (完全に) 消えた(瞬間) ①キエタローガノ／②キエタ／③キエタデ／△④キエ
タデヨ(若年層)
10. (すでに) 消えていたよ ①キエチヨッタエーノ／②キエチヨッタ(若年層も)
11. (何本もの蠟燭が順に) 消え始めた ①キエヨル／△②キエダシタ／③キエダシタ
(若年層)
12. (何本もの蠟燭が次々) 消えていくなあ ①キエヨル(若年層も)／②キエヨルチ
ー
老年層の②は宇佐美氏の内省だが、当該方言では「キエヨルノー」とあるべきか。
13. (何本もの蠟燭が順に) 消えているよ ①キエヨローガノ／△②キエヨル／③キエ

ヨル（若年層）

* 若年層の内省では「『キエチヨル』はない」とのことである。

14. （何本もの蠟燭が全部）消えているよ ①キエタエーノ／△②キエチヨル／③キエテシモータ（若年層）

15. （何本もの蠟燭の火を次々）消しているよ ①ケシヨッテジャ／②ケシヨッテ／③ケシヨル（若年層）

* 老年層話者の内省に「『ケシチヨッテ』は言わない」とあった。

16. （もう全部）消しているか ①ケシチヨッテカドーカ／△②ケシチヨルカ／③ケシチヨルカ（若年層）

* 確かめ聞きに対する若年層の内省に、「『（縁側の電気）ケシチャルカ』などの言い方はする」とあった。「ケシチャルカ」はありそう。

17. （今にも桜が）散りそうだ ①チリヨル／②チリソーナノー／△③チリソージャ（若年層）

* ②は「ハー チリソーナノー」の形で表現されたもの。

18. （ちらほらと）散り始めた ①チリカケタ／②チリダシタ／△③チリダシタノー／△④チリダシタ（若年層）

* 老年層話者は「②『チリダシタ』が自然な物言い」と内省した。

19. （今現に）散っている △①チリヨルノー／②チリヨル／③チリヨル（若年層）／④チッチヨルノー／△⑤チッチヨル（若年層も）

* 老年層話者では、「進行形のときは、『チッチヨル』系より「チリヨル」系の方が自然な物言い」と内省。「チッチヨル」は若年層でも聞くが、少ない。

20. （桜の木がすっかり）散っている ①チッチヨルデ（誘導）②チッチヨル（若年層も）／③チッチャッタ／④チッテシモータノー／⑤チッテシモータデー

* ⑤の「～デー」は「デヨ」の音訛形[～dæ:]である。若年層話者の内省によれば、「チッチャル」は言わない。本稿の老年層話者は「チットル」は言わないと内省された。

21. （地面一面に）散っている ①チッチヨルデヨ／②チッチヨル（若年層も）

* 若年層話者は「『チッチャル』『チリヨル』」両形とも言わない」、老年層話者は「『チットル』は言わない」と内省。老年層には、結果の状態を表す「（雨が）フットル」もなかった。

22. 今にも降りそうだ ①フリソーナ／△②フリソーナノー／△③フリソーナ（若年層）／△④フリソージャ（若年層）

* 若年層話者の内省に「④『フリソージャ』もあるが、一般には③『フリソーナ』の方を言う」とあった。同じく「フリヨル」は言わない。

23. （あの時は今にも雨が）降りそうだったなあ ①フリソーナヨナジャッタ／△②フリソージャッタ（若年層も）／△③フリソージャッタノー（若年層）／△④フリソーダ

ッタ (若年層)

* ④「フリソーダッタ」は東京共通語形を習得したものか。

24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ ①フリオッタ (若年層も) / △②フツ
チヨッタ (若年層)

* 若年層話者は「②『フツチヨッタ』も聞くが①『フリオッタ』の方が一般的」と内省。

25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ △①アケカケチヨッタ / △②アケ
カケチヨッタ / ③アケヨッタ (若年層)

26. (来年の今ごろは家を) 建てている (最中) について、「建てているから」を
①タテヨルカラ / ②タテヨルカラ^ア / ③タテヨルケー (若年層)

* 中年層以上には「タテヨローケー」も聞きそうだが、若年層では「タテヨルケー」の
方が自然の物言い。これは確かめ聞きに対する若年層話者の内省である。

27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てているについて、「建てているから」を ①タ
テチヨルカラ / ②タテチヨルケー (若年層) / ③タテタカラ

* 確かめ聞きに対して若年層話者は「『タテチヨローケー』も言う」と内省し、より自
然な物言いとしては「タテチヨルケー」の方だとのことである。

28. (あの家はよく) 磨いてある ①ミガイチヨル / ②ミガイチャル (若年層も)

* 若年層話者は「①『ミガイチヨル』とは言わない」と内省した。

29. (隣の犬が) 鳴いている ①ナイチヨル / △②ナイチヨル (若年層) / ③ナキヨル
^ア / ④ナキヨル (若年層も) / ⑤ナキヨー (若年層)

* ⑤の若年層話者の言う長音便形「ナキヨー」はくつろいだ物言いである。

30. (隣の子が) 泣いている ①ナイチヨル (若年層も) / ②ナイチヨッテジャ / ③ナ
イチヨッテ / ④ナキヨル (若年層)

* 若年層話者の内省には、「③『ナイチヨッテ』『ナキヨッテ』は中年層以上の世代が
使う」とあった。「～テ」は軽い敬語表現である。

31. (子どもたちが) 喧嘩している ①シヨルヨナカラ / ②シヨル (若年層も) / ③シ
チヨル / △④シチヨル (若年層) / ⑤シチヨルケー (若年層)

* 若年層話者の内省には「『シチャル』と『シヨッテ』は言わない」とあった。

32. (家に) いるかなあ ①オッテジャローカ / ②オッテジャローカ^ア / ③オルカ^ア
ー (若年層)

* 確かめ聞きに対する若年層話者の内省には、中年層以上では①「オッテジャローカ」
や「オッテカノー」形も言いそうだとあった。

33. (〇〇さん) いるか ①オッテカ^ア / ②オイデマスカ / ③オルカー (若年層)

* 確かめ聞きに対し、若年層話者は「中年層以上は『オッテカイノー』も言う」と内省
された。

34. (ああ) いるよ ①オルヨ (若年層も) / ②オリマス / ③オリマス オリマス

* 中年層以上は頭高型の「オリマス」も言うようだ。

35. (そういう人も) いるよ ①オッテ^ーノ / ②オルイ^アー / ③オルヨ (若年層) / ④
オル^ッチャ (若年層) / △⑤オルイ^ネ (若年層)

* 若年層では特に③「オルヨ」を言うことが多い。

36. (あなたは今何を) していたか ①シ^チョテカノ / △②ナ^ン シ^チョッタ (若年層)
③シ^ョッチャ^ッタ / ④ナ^ン シ^ョッタ (若年層) / ⑤ナ^ン シ^ョッタ (若年層)

* ⑤「ナン ショッタ」はくつろいだ物言いの拗音化例である。②④⑤は「ナン～」で
の表現のなかに現れた。若年層話者としては④⑤が一般である。

37. (私は今金魚を) 見ていたよ ①ミ^ヨッタヨ / △②ミ^ヨッタ (若年層) / ③ミ^チョ
ッタ^エノ / ④ミ^チョッタ (若年層)

38. (金魚が今にも) 死にそうだ ①シ^ニソ^ーナ^ヨー^ナノ^ー / ②シ^ニソ^ーナ (若年層も)
/ △③シ^ニソ^ージャ (若年層) / ④シ^ヌル^ンジャ^ロー^カ / ⑤シ^ヌル^ンジャ^{アル}マ^ーカ^エ
ー^ノ / ⑥シ^ヌル^ンカ^モワ^カラン / △⑦シ^ニヨ^ルン^{ジャ}ロ^ーカ

* 若年層は②「シニソーナ」も言うが、一般には③「シニソージャ」の方をよく用いる。
老年層話者のお一人と、若年層話者は「シニヨル」とは言わないと内省された。

39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ ①シ^ンダ^エー^ネ / ②シ^ンデ^シモ^ータ / ③シ^ンジ
ョ^ッタ^デヨ / ④シ^ンジ^ョッタ^トモ^エヤ / ⑤シ^ンジ^ョッタ (若年層)

40. 読み始めていた ①ヨ^ンジ^ョッタ^エー^ネ / △②ヨ^ミカ^ケチ^ョル / △③ヨ^ミカ^ケチ^ョ
ッタ (若年層。少々自信がなさそう)

* ②「ヨミカケチョル」では「～タ」形を聞き出せなかったが、③にはそれを見出せる。
若年層話者は「『ヨミヨッタ』は言わない」と内省した。

41. 読み始めたところへ(～た) ①ヨ^モト^オモ^ーチ^ョッタ^トコ^ロジャ / ②ヨ^ミヨ^ッ
タ^ラ (若年層) / ③ヨ^ミカ^ケチ^ョッタ^トコ^ニ (若年層。あまり言わない)

42. 着くと同時に～した ①ツ^イタ^トコ^ロエ / ②ツ^イタ^ラ (若年層)

* 老年層話者は、「ツクナリ」「ツイタタン」「ツクトスグ」をすべて言いそうだと
内省された。老年層話者には「『スワッタタンニ』のことですね」の発言もあった。

43. 着くと同時に～してくれについて、「着くと同時に」を ①ツ^クト^スグ / ②ツ^イタ
ラ^スグ^ニ (若年層も。老年層話者に対しては誘導の結果) / ③ツ^イタ^ラ (若年層)

44. 鳴りつづけている ①ナ^リッ^パナ^シ / △②ナ^リッ^パナ^シ (若年層) / ③ナ^リツ^ズケ
ヨ^ル (誘導) / ④ズ^ーツ ナ^リヨ^ル (若年層) / ⑤ナ^リツ^ズケ^チョ^ルデ^ヨ / ⑥ズ^ーツ
ナ^ッチ^ョル (若年層)

* 若年層話者にとっては、④「ズーツ ナリヨル」が最も自然な物言いである。

45. (先生は今何を) しているか ①ナ^ン シ^ョッテ^デス^カ (若年層) / ②シ^チョ^ラ
レ^マシ^タカ / ③シ^テオ^ラレ^マシ^タカ / ④シ^テオ^イデ^マス^カ

* この項の①～④によれば、若年層の敬語表現が低い敬意度のそれであることがよく読

み取れる。それとは逆に、老年層には②③④のような敬意度の高い表現が際立つ。

46. 好きだ ①スキジャーネー／②スキジャーノー／③ダエースキ／④スキッチャ（若年層）
／⑤スキジャ（若年層）

*老年層では「エー センセージャノー」の方が自然で言いやすい。

47. 見られているのについて、「見られているのも知らずに」を ①ミラレヨルノモ
シラント（若年層）／②ミラレチョルノー シッチョッチャチインジャロー／△③ミラ
レチョルノモ シランコーニ／④ミラレチョルノモ シラント（若年層）

*若年層の話者には①「ミラレヨルノモ シラント」が最も自然な物言いである。

48. （今、運動会が）ある △①アリヨル／②アリヨルデヨ／③ヤリヨル（若年層）

*老年層には「イチバンエー サカリジャガノー」「イマ サカリジャ」の表現もある。

③は「ウンドーカイ ヤリヨル」のように格助詞「ヲ」をとらない形の表現になる。

49. （降らなくて）よかったよ ①エカッタネー／②エカッタノー／③エカッタノー／
④エカッタ／⑤エカッター（若年層）

*老年層話者の①「エカッタネー」はやや丁寧なよそいきの物言いである。

50. （先生がこっちへ）来つつある ①オイデヨル／②キヨッテ（若年層も）／③キヨ
ッテジャア（友達同士の会話の場面では言う）

*若年層話者は、老年層において一般的な敬語表現形「オイデル」系は言ったこともないし、聞いたこともないと言う。②の「キヨッテ」は軽い敬意を含んだ表現である。

51. （犬がこっちへ）来つつある ①キヨルヨ／②キヨル（若年層も）／③キタ キタ
／④クルデヨ

52. 似ている ニチヨル（若年層も）

53. （一週間も前から遊びに）来ている ①キチヨリマス／②キチヨル（若年層も）

54. （昔から）苦労していない ①シチヨランカラ／②シチヨラン（若年層も）

*若年層話者は「シヨラン」は言わないと内省した。

55. （今はあまり）苦労しないている ①シヨラン（若年層も）／②シチヨラン（若年
層も）

*若年層話者としては一般に①「シヨラン」の方を用いる。老年層の②は「シンツーシ
チヨラン」の形で現れていた。

56. ～は売っているが、～は売っていない ①ウッチヨルケド、ウッチヨラン（若年層
も）／②ウッチヨルガ、ウッチヨラン／③ウッチョッテジャガ、ウッチョッチャナー

57. （昔からタバコを）売っている ①ウリヨッテ／②ウッチヨル（若年層も）／△③
ウッチョッテ

*老年層話者の内省は、「③『ウッチョッテ』も言うが①『ウリヨッテ』の方がより自
然な物言い」とあった。

58. （今、大売出しで衣料品を）売っている ①ウリヨルデヨ／②ウリヨル（若年層も）

／③ウ^リヨー（若年層）／④ウ^リヨッテ／⑤ウ^ツチヨル

*老年層話者は、⑤「ウツチヨル」より②の「ウリヨル」の方が一般、若年層話者も同じに内省。その「ウリヨル」より音便形③「ウリヨー」の方がさらに自然な物言いのようだ。

59. (もう三回) 来ている ①キ^チヨル（若年層も？）／△②キ^タコト アル（若年層）

*若年層としては、①「キチヨル」より②「キタコト アル」の方が一般である。

60. (いつも) 来ている ①キ^チヨル／△②キ^チヨル（若年層）／③キ^ヨル（若年層も）

*若年層話者としては一般に③「キヨル」を言う。若年層の②は「ケッコー キチヨル」の形、老年層の③「キヨル」は「ヨーサイサイ カイニ キヨル」の形で現れたもの。

61. (昔はいつも) 来ていた △①キ^ヨッタ／②キ^ヨッタ（若年層）／③キ^チヨッタ（若年層も？）

*若年層としては②「キヨッタ」の方がより自然な物言い。

62. (前に一度) 行っている ①イ^ツチヨル（若年層も？）／②イ^ツタコトガ アル／③イ^ツタコト アル（若年層）

*若年層としては一般に③「イッタコト アル」と言い、①「イッチヨル」は「言うと思う」と内省したにとどまり、自信がなさそう。

63. 先に行っておいてほしい ①イ^ツチヨリサン／②イ^ツチヨリサンネ／③イ^ツチヨイテモラワレマーカ／④イ^ツチヨッテ（若年層）

*老年層では①に類して「イッチヨキサン」の形もある。

64. 待っていないさい ①マ^ツチヨリサン／②マ^ツチヨリサンヨ／③マ^ツチヨケーア／④マ^ツチヨキー（若年層）

65. (外に) 待たせてあるよ ①マ^タセチヨラーネ／②マ^タセチヨルイネ／③マ^タセチヨル（若年層）／△④マ^タシチヨル（若年層）／⑤マ^タシチヨルケー（若年層）／△⑥マ^タシチヨルイヤ（若年層）／⑦マ^タシチャルイヤ

*⑥「マタシチヨルイヤ」は稀には若年層話者も言っている。

66. 食べておいておくれ ①タ^ベチヨキサン／②タ^ベチヨケーア／③タ^ベチヨケーア／④タ^ベチヨッテ（若年層）

67. (昔と) 違っている ①チ^ガチヨル（若年層も）／②チ^ガチヨル（若年層）

*若年層話者は上記以外に「カワッチヨル」も言うと言内省。②「チガッチヨル」は東京共通語形を習得したものか。

68. (昔は今のと) 違っていた ①チ^ガチヨッタ（若年層も）／②チ^ガチヨッタ（若年層）

*若年層の②「チガッチヨッタ」は東京共通語形を習得したものか。

69. (毎日梅干しを) 食べている △①タ^ベヨル／②タ^ベヨル（若年層）／③タ^ベチヨル／△④タ^ベチヨル（若年層）

* 若年層話者としては、一般的に④「タベチョル」より②「タベヨル」を言う。

70. (毎朝) している ①シ^チヨ^ル / ②シ^ヨル (若年層)

71. 気をつけていて (~した) ①キ^{オツ}ケ^ヨツ^{チャ}ツ^タ / ②キ^{オツ}ケ^ヨツ^テ (若年層)
/ △③キ^{オツ}ケ^チヨ^ツガ

72. 行ったまま~ ①イ^ツタ^ギリ / △②イ^ツタ^ナリ / △③イ^ツタ^キリ (若年層も) / ④
イ^ツタ^ママ (若年層)

* 老年層話者のお一人は①の「イッタギリ」が一般だと内省し、もうお一方は②「イッタナリ」が「帰ってこない荷立ちがよく表されている」と内省された。若年層話者では一般に④「イタママ」を言う。

73. ~しながら ①シ^ーシ^ー / △②シ^ーシ^ー (若年層も) / △③シ^ナガ^ラ / ④シ^ナガ^ラ
(若年層)

* 若年層話者は「②『シーシー』もあるが、自分はあまり言わない」と内省する。

74. ~の途中で~するについて、「行く途中で」を イ^キシ^ナニ (若年層も)

* 若年層話者の内省では「ガッコノ イキシナニ」形で使う。

75. ~の途中で~したについて、「行く途中で」を ①イ^キヨ^ツタ^ラ / ②イ^キヨ^ツタ^ラ
(若年層) / △③イ^キヨ^ツテ

76. ~の途中で止めて~したについて、「読むのを途中で止めて」を ①ヨ^ミク^サシ^テ
/ ②ヨ^ムノ^オ ヤ^メテ / ③ヨ^ミサ^シデ (若年層) / △④ヨ^ミカ^ケデ (若年層)

77. ~したばかりだについて、「読んだばかり」を ①ヨ^ンデ^スグ / △②ヨ^ンダ^バッカ
シ / ③ヨ^ンダ^バッカ^リ (若年層も)

* ②「ヨンダバッカシ」について、若年層話者は「自分はあまり言わないが、友人の中にはこれを使っている者がいる」と内省する。

78. 無くなっている ①ナ^エー^ヨー^ニナ^ツタ / ②ナ^エー^ヨー^ニナ^ツタ / ③ナ^エー^ヨー^ニ
ナ^ツチ^ョル / ④ナ^クナ^ツチ^ョル (若年層)

* ④の「ナクナツチョル」の形容詞連用形「ナク」は東京共通語形を習得したもののか。

79. 無くなるぞ ①ナ^エー^ヨー^ニナ^ルデ^ヨ / ②ナ^イヨ^ーニ^ナル^ゾ / ③ナ^イヨ^ーニ^ナル /
④ナ^クナ^ルゾ (若年層も) / ⑤ノ^ーナ^ルゾ^ー (若年層) / ⑥ノ^ーナ^ルヨ^ー (若年層)

* ④の「ナクナルゾ」は質問文の語形をそのまま受けて内省したもののか、東京共通語形を習得したもののか。老年層の場合は前者、若年層は後者の可能性が高そう。

80. 掛けておいた帽子 ナ^ケチ^ョツ^タ (若年層も)

* 若年層話者は確かめ聞きに対し、中年層以上の世代の物言いとして「カケチャツタ」を聞くと内省する。

81. 並んだ本 △ナ^ラン^ジョ^ル (若年層も)

82. 並べた本 ①ナ^ラベ^チョ^ル / ②ナ^ラベ^チャ^ル (若年層も)

* 若年層話者の内省には「②は『オイチャル』の方が自然で言いやすい」とある。

83. ～しておこうかについて、「読んでおこうか」を Δ①ヨ^ーン^ジョ^コー^カ／②ヨ^ンジ^ョコ^ーカ (若年層も)

84. やってあるかについて、「やってある」を ①ヤ^ッチ^ョル (若年層も)／②ヤ^ッチ^ャル (若年層も)

* 若年層話者にとっては、①「ヤッチョル」の方が比較的自然的な物言いである。

85. 壊している ①ヤ^ブッ^チョ^ル／②メ^ーデ^シモ^ーチ^ョル／③コ^ワッ^ショ^ルヨ (若年層)

86. 壊れている ①ヤ^ブッ^チョ^ル／②メ^ゲチ^ョル^ヨ／③メ^ージ^ョル^デヨ／④コ^ワレ^チョ^ル (若年層)

87. 壊されている ①コ^ワサ^レチ^ョル^デヨ／②コ^ワサ^レチ^ョル^ヨ (若年層)／③ヤ^ブッ^チャ^ッタ

88. のけてある ①ノ^ケチ^ャル (若年層も)／②シ^モー^チャ^ル／③ノ^ケチ^ョク／④シ^モー^チョ^ル

89. 書き終わった ①カ^キシ^モー^タ／Δ②カ^イテ^シモ^ータ／Δ③カ^キオ^ワッ^タ (若年層)／Δ④カ^キア^ゲタ (若年層)

90. 書いてしまいなさい ①カ^イテ^シマ^イサ^ンヨ／②カ^イテ^シマ^イサ^ン／Δ③カ^キー^サン (若年層?)／④カ^ケー^ヤ (若年層も)

* 若年層話者は「④『カケーヤ』は、友達に対する場合のくつろいだ物言い」と内省。

91. 書いてしまう ①カ^イテ^シモ^ー／②ツイ^カク^ノー／③カ^クッ^チャ (若年層)

92. 書いてみた ①カ^エー^テミ^タ／②カ^イテ^ミタ (若年層)

93. (孫は今)入院している ①ニ^ュー^イン^シチ^ョリ^マス／②ニ^ュー^イン^シチ^ョル^ンヨ／③ニ^ュー^イン^シチ^ョル (若年層)

* 若年層話者の内省によれば、「ショル」形は言わない。

94. (弟も今)入院しているそうだ ①ニ^ュー^イン^シチ^ョル^テノ／②ニ^ュー^イン^ドー^モシ^チョ^ルラ^シー^ヨー^ナ／③ニ^ュー^イン^シチ^ョル^ラシ^ー (若年層)

* 老年層話者の内省によれば、「シトル」形は言わない。

95. (きっと)よくなるよ ①ヨ^クチ^ャル^イネ／②ヨ^ーナ^ッテ^{ジャ}ロー／③ヨ^ーチ^ャル^ッチ^ャ (若年層)

* ①は「ヨーナルイネ」とあるべきところだが、質問文の語形をそのまま受けて内省したようだ。若年層の話者は、「自信はないが『～テクル』ではないかと思う」と内省。

96. だんだんよくなるよ ①ヨ^クチ^ャル^ヨ／②ヒ^ニチ^ガク^スリ^イネ

* 若年層話者はこの項NR。老年層話者の①「ヨクナルヨ」は質問文の語形をそのまま受けて内省したものと思われる。老年層話者は「ダンダン サムクナッテクル(だんだん寒くなってくる)」は言うとのこと。「テイクかテクル」かの問いに対してはNR。

97. 歳とるとね、歳をとってくる(若年層も)

* 老年層話者のお一人はこの項NR。

98. なおらなくなるよ なおらなくなってくる（若年層も）

99. (1)（犬が）怪我したので 言わない（若年層も）、言う

(2)（子どもが）怪我したので 言わない（若年層も）、言う

(3)（お父さんが）怪我したので 言わない（若年層も）、言う

(4)（雨が）降ってきたので 言わない、言う（若年層も）

* 以上の(1)～(4)については、老年層話者お二人の内省が「言わない」（竹屋氏）「言う」（宇佐美氏）に割れた。参考までに示すと、(3)については、防府市内の老年層話者1名に「言う」との内省があった。

100. つつある

(1)雨が降りつつある 「すでに盛んに降り続けている、降っている最中」（若年層も）

(2)貯金がふえつつある ①「貯金が少しずつ増えようとしている」状態／②すでに現にどんどん増えている」状態（若年層）

(3)貯金を増やしつつある ①「増やそうとして少し貯金をし始めた」状態（若年層も）／②「すでに現にかなり増やしている最中」

* (1)～(3)のうち、(3)のみ老年層話者の内省が分かれ、①が竹屋氏②が宇佐美氏である。

Ⅲ. まとめ

将然形は「～ヨル」が一般。進行の状態の表現は「～ヨル」、結果の状態は「～チョル」になるのが普通だが、前者の進行の状態については、すでに老年層にも「～チョル」を使う傾向が現れている。1、19、24、57、58など「～ヨル」形の方が自然な物言いだとの内省が多い故、「～ヨル」が本来形だと考えられる。その進行の状態を示す「～チョル」は若年層に向けて次第に増加する傾向にあり、将来、「進行も結果も『～チョル』形へ統合」といった事態が予想される。結果の状態には一般に「～チョル」が用いられている。今回調査の老年層話者からは「～トル」や「～テイル」を聞き出し得なかった。

45、50に見られるように、若年層の敬語表現は総じて簡略、軽いものを使う。語彙、文法、音韻とも東京共通語の影響をみせるものが目立った。老年層の場合は、調査の場という質問文に対する返事を求められるといった状況も内省に影響したようだ。

そのほか、処置は「チャル」形によって表現されることがある。「これから始まろうとする場合」にも3、4など「ヨル」を使う傾向が見られた。待遇の「ヨル」の内省は話者にとって難しく、答えに迷いが見られた。理由を表す接続助詞は「カラ」「ケー」を併用する。

（そえだけんじろう 山口大学人文学部）

（こじまじゅんいちろう 大阪大学研究生）